

■ 長浜まちづくり100人委員会（9/17開催）の成果

テーマ	10～30年後、市民が幸福を感じながら暮らすことのできる長浜市とは、どんなまちでしょうか？
子どもの力が生かされるまち	●若い人が住み続けるまち
	●若い女性が集まり、出会いのあるまち
	●結婚・出産・子育てがしやすいまち



そのまちを実現していくために、重要となる要素・視点は何でしょうか？	
若年層の定住促進	<ul style="list-style-type: none"> ・孫が街に行きたいと言いつけている ・若年者が減りさびれていく（北部） ・若い人が住み続けるまち
雇用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・職の選択肢が少ないため、大阪へ行ってしまふ ・働ける場所があるまち ・若年者が離れないための雇用の確保
地域企業の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・強みを持つ企業の存在 ・誘致は困難。既存企業との連携で仕事づくり。
仕事の発掘	<ul style="list-style-type: none"> ・場所ごとに昔は仕事があった
企業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の誘致 ・伸びしろのある企業を誘致 ・新たな中小企業の発掘
地域への還元	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者には地域に還元する心を
雇用の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、湖北は外国人労働者に依存 ・世の中の疲弊が売上（商業）に影響 ・地元小売業が厳しい状況が継続。コンビニ、大型店舗の進出
女性が活躍する場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が楽しく安心して働ける仕事 ・女性が好むのを ・若い女性の意向を未来を背負う人々の意見を聞くべき
出会いの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・男女が出会うまち ・福井市は婚活がすごい ・出会う場所の創出 ・結構相談員の情熱
子育て環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかに子供が育つまちづくり ・健康、福祉、教育に力を入れたまち ・企業で働くことが本当の幸せか？ ・人間的に豊かな田舎暮らし ・子供を安心して育てられる環境を
子どもの変化	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達の生活習慣の変化 ・子供達の体格の変化
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育のレベルアップ、ひずみ ・田舎に住む覚悟”教育”で原点 ・中高一貫校を
価値観	<ul style="list-style-type: none"> ・将来何をしたいかどう生きていきたいか積極的に働きかけるべき ・企業で働くことが本当の幸せか？ ・人間的に豊かな田舎暮らし

テーマ	10～30年後、市民が幸福を感じながら暮らすことのできる長浜市とは、どんなまちでしょうか？
安心して助け合えるまち	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動が盛んなまち ●地域で助け合えるまち ●自然と共存できるまち
交流のまち	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが魅力を感じるまち ●さまざまな人が集うまち ●訪れやすい環境が整ったまち



そのまちを実現していくために、重要となる要素・視点は何でしょうか？	
地域団体の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体は増えたが、活動は停滞 ・協議会規模が大きすぎる機能しない ・地域づくり協議会官製のもののみ（自発性なし） ・地域の仕事、負担が多い（区費等） ・若者にとって住む地域のわずらわしさ→転出してしまう
地域での助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・公助－共助－自助・互助（積極的に） ・高齢者同士の連帯性。ゆとりができると下の世代に見本を見せる
地域ぐるみの子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子供を育てることが重要 ・親から伝わってきたことが希薄になっている。育て方、怒り方 ・道徳的な教育が不足 ・親の苦勞する姿、連帯感、語りべ ・隣がわかる人間関係 ・小さな時から育んできた伝統・文化・観光資源 ・長浜市総文化人計画 ・人材育成・教育
自然との共存	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の暮らしの困難さ ・交通不便、積雪による住みづらさ（北部）
人口変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減、少子・高齢化 ・後ろ向きな人口目標は良くない ・人口流出は食い止めたい
行政サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービス（身近なごみ、除雪など）が充実すると住みやすい
来訪者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・人を増やして賑やかなまちに ・観光で収入を得るのは現状難しい。もっと集客しないと ・観光客を呼ぶだけでなく、金をどう使わせるか ・誰もが魅力を感じるまちづくり
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・長浜にしかないものをアピールできるまち ・情報が一体的に入手できる媒体、一覧 ・ITの有効活用新聞、TV、SNSなど
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野の人が集まると風通し良く疎通連携できるのではないかと ・よそ者・長浜人・Uターン組 ・住み続ける人、Uターン、Iターン多様な人が混じって暮らす
空き家の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用、田舎も市街地も、空き家の増加
移動手段の確保・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・都会への交通の便 ・木之本に新幹線を ・人の移動しやすいトンネル、道路 ・スマートインターの活用

テーマ	10～30年後、市民が幸福を感じながら暮らすことのできる長浜市とは、どんなまちでしょうか？
誇りを持てるまち	<ul style="list-style-type: none"> ●田舎暮らしが楽しめるまち ●住みやすい・暮らしやすいまち ●風格のあるまち
資源を暮らしに活かすまち	<ul style="list-style-type: none"> ●バランスの取れたまち ●周遊観光がしやすいまち ●自然あふれるまち



そのまちを実現していくために、重要となる要素・視点は何でしょうか？	
ライフスタイルの転換	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場＝大阪等、住む場＝長浜どうやって成立させるか ・「小さな都会」ではなく、不便・不自由のない田舎
コンパクトシティ	<ul style="list-style-type: none"> ・今のままで住んではいけない ・まちを集約しつつ都会とは違った良さを！ ・人口ビジョンをいかに進めていくか ・転出者に対し、その理由を調査
誇りが持てる	<ul style="list-style-type: none"> ・風格のあるまちに ・大人になって田舎、ふるさとを良かったと懐かしめる環境 ・悪いところは止め、よいところを残せるのが日本人
地域間のバランス	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスの取れたまちづくり ・周辺地域の拠点の活用 ・地域格差が生じている ・北部地域の人口減少が加速 ・中心市街地と山間部との開発の差
長浜らしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・美観建築が多い ・長浜らしいおみやげがほしい ・歴女を呼び込む
地域間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・木之本が活性化してきた（小谷城、サラダパン） ・虎姫はこれから ・湖北の観光地ネットワーク ・他自治体も共にもっと充実を ・奥琵琶湖等 ・地域の資源を活用して大きく育てる、皆でつなぐ、皆が見に行く
異分野コラボレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・分野間のコラボレーションのあるまち ・視点を変えた見方が必要
自然の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が財産、癒やしの環境 ・自然を活かしたまちづくり ・雪を活かしたまちづくり ・新しい資源を活かすまちづくり ・空気がおいしい
自然から学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中に学ぶことがある ・自然のミュージアムをどう活かすか
アウトドアブームに便乗	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在型レクリエーションの導入 ・ボートキャンプ場が流行っている